

## 第3回 彦根市都市再生協議会

平成 29 年 8 月 4 日（金）に第 3 回彦根市都市再生協議会を開催しました。



### ■ 会議の流れ

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 1. 開会挨拶  | : 副市長より挨拶                      |
| 2. 委員の紹介 | : 都市計画課（事務局）より紹介（11 名中 10 名出席） |
| 3. 資料の説明 | : 彦根市立地適正化計画について<br>: 質疑応答     |
| 4. 閉会挨拶  | : 都市建設部長より挨拶                   |

### ■ 委員からの主な意見

- 彦根市の特徴を出すことが重要である。彦根市の特徴は 6000 人の学生がいるという点にあるが、そのことが都市づくりの方針に出てきていない。
- 基本方針に、高齢者が、と表現されているが、高齢者だけでなく若者を含めた市民すべてが対象ではないだろうか。すべての人が歩いて公共施設にアクセスできる、市民のみんなが歩いて暮らせるのが重要である。
- 都市モビリティ（※1）をどうするかを考える必要がある。
- 彦根独自の都市交通を考えていくことが望ましい。産官学が連携して何ができるかが大切である。
- 中心市街地を一つのモデルとして、そこでいろんなことが起こる。テストに参加する。コンパクトシティの実験場として色々な取組みをしてはどうか。創造的チャレンジ市街地として位置づけてはどうか。
- 課題と都市づくりの方針のつながりが、意見公募（パブリックコメント）を受ける人から見ると分かりにくいのではないか。4 章を読んだだけでは、次の都市機能誘導地域や居住誘導地域につながる方針が見えてこない。これでは意見が出にくいのではないか。
- 彦根市も CCRC（※2）の議論をすべきである。高齢者居住対策に取り組むべきであり、サービス付き高齢者住宅に対して減免措置を講じている都市もある。

### ■ 今後の予定

- 頂きましたご意見を踏まえ、9 月からパブリックコメントを実施します。  
次回の協議会は 11 月頃の開催を予定しています。

※ 1 都市モビリティ：都市における移動手段。

※ 2 CCRC(Continuing Care Retirement Community)：定年後の高齢者を対象とする米国の医療・介護制度。